



第9号
平成18年5月1日発行

いき 議会だより



春らんまん（石田保育所にて）

追跡

あん質問などえんになった？
イルカが言暇にやってきました

19P

追究

こうとえんって？
介護保険料465円増

18P

一般質問

13人が登壇
一問一答方式を導入

10P

**新年度予算
ピックアップ**

印通寺港ターミナルビル
2億9千万円

8P

議案質疑

石田スポーツセンター
6億5千万円

4P



定例会の概要

平成十八年第一回定例会は、三月三日から二十四日まで二十二日間の会期で開かれました。

十八年度一般会計予算

(二百十億九千二百万円)、

特別会計予算(総額百三十三億二千六百六十二万

四千元)を始めとする、

議案七十三件、決算認定

一件、請願三件、陳情一

件、要請一件、計七十九

件が上程され、審議され

ました。

三日(本会議初日)は、

議長より諸般の報告、市

長の施政方針に続いて、

議案が上程され、説明が

なされました。継続審査

となっていた請願一件は

不採択、決算認定一件は

可決されました。

八日(本会議第二日)

は、上程議案への質疑、

予算特別委員会の設置、

各委員会への議案等の付

託がなされました。

九日、十日(本会議第

三、第四日)は、一般質問が行われ、十三名が登壇しました。(今回より一問一答方式を試行的に採用)

十四日、十六日は各常

任委員会が行われ、議案

等が審査されました。

二十日、二十一日は、

予算特別委員会が開催さ

れ、慎重なる審査が行わ

れました。

二十四日(本会議第五

日)の最終日には、付託

案件の審査に対する、各

委員長の報告がなされ、

採決を行いました。審査

の結果、七十三議案と要

請一件は可決、陳情一件

は不採択、請願二件は継

続審査となりました。

次に、追加議案が上程

され、議案一件、同意一

件、諮問二件、発議二件

が採決の結果、可決され、

一支国博物館(仮称)建

設等に関する調査特別委

員会が設置されました。

人事

教育委員

再任



井川 武さん

教育委員とは

教育委員会の構成員。教育・学術および文化に関して見識のある人を、市長が、議会の同意を得て任命します。任期は四年。

人権擁護委員

再任



濱田正剛さん

人権擁護委員とは

住民の基本的人権の侵犯を監視・救済し、人権思想の普及・高揚に努める人です。法務大臣の委嘱により全国の市町村に配置されます。任期は三年。

再任



松野美幸さん

市長施政方針

平成十八年度 予算

編成にあたっては、自

主財源の確保、行政効果の見直し、優先順位の高いものに配分。不足する財源は、基金の取り崩し、市債借入金により補填。

職員給与の 改定・定数の削減

国家公務員の給与改定に準じて改定し、十九年度は給料の減額も検討。今後も定員の適正化を重視し、職員配置の見直しで削減を図る。

長崎県

総合防災訓練



鎌崎埋立地（郷ノ浦町片原触）

五月二十八日、郷ノ浦町鎌崎埋立地にて地震津波災害を想定した避難訓練等を開催。

税制改正

固定資産の評価替え基準年度であり、壱岐市土地評価事務取扱要領を作成し、旧町間の均衡・適正化を図る。

全期前納報奨金の の見直し

現行の二分の一を交付し、将来的には廃止の方向。

離島交流中学生 野球大会

佐渡・対馬・壱岐の三市誕生を記念しての交流大会を壱岐市において開催。

児童手当制度の 改正

十八年四月より、小学校第六学年終了前の児童

まで支給年齢が拡大される。

三島航路 乗船カード交付

三島在住者で、七十五歳以上の利用者の無料カード交付予算を計上。

第一号被保険者 (六十五歳以上) の介護保険料

十八年度からの第三期介護保険料は、四百六十五円アップの月額三千七百六十五円に改定。

地域包括支援 センターの設置

介護保険制度改正に伴い、設置が義務化された。市内に一ヶ所設置し、要介護者にならないための「予防」が主事業。

農業振興

農村の持つ多目的機能への期待が高まる中、十九年度からの「品目横断的経営安定対策」の実施により、経営感覚に優れた農家の育成、集団営農

組織化を推進する。

全国農業担い手 サミット

十月に長崎市をメイン会場として開催され、全国から百五十名参加の分科会を本市にて開催。

農村整備事業

新規事業として、県営ほ場整備事業（刈田院地区）計画を作成し、整備促進を図る。

水産振興

漁家経営安定向上のため、資源管理型漁業の推進、ブランド化に取り組む。

港湾・漁港整備

大型フェリー就航に伴い、印通寺港ターミナルビル等の整備を行う。

建設部関係

道路整備は、補助事業三路線、起債事業十二路

線を整備。単独事業は未計上。

公共下水道 受益者負担金

合併前同様に負担金を徴収する。

学校教育関係

四月から幼稚園全九園で預かり保育を実施。養護学校分教室は、十九年度に開設。

原の辻遺跡関連 整備事業

一支国博物館（仮称）の建設については、建築・展示設計及び工事監理・管理運営事業者を一体的に選定するため、一般公募を実施。十八年度は敷地造成工事の予算を計上。

病院事業関係

壱岐医療圏の中核病院として医療需要に対応しているが、医師招聘問題や診療報酬の改定等、経営には厳しいものがあり、経営基盤の確立が必

要。職場の体制改善を図り、全職員が連携して病院運営に取り組み。医薬分業については、四月一日より開始。

消防本部関係

携帯電話からの災害通報は、直接壱岐消防署で受信する態勢となった。また、三月一日より救急患者の状態に応じ、医師の指示で救急救命士が気管挿管を実施する態勢が整った。

本年度は消防団消防練法大会の開催年度で、水出し練法にて実施。



水出し練法訓練場(壱岐島開発センター裏)



刈田院地区(郷ノ浦町長峰東触)▶



吉岐市農業機械銀行（郷ノ浦町柳田触）

十七年度 補正予算

Q 昨年に比べ、繰越明許が多すぎるのでは。

A 十六年度から十七年度にかけての繰越は建設部関係、道路十二件・河川一件・まちづくり三件、簡易水道六件、下水道二件。補助事業の場合は、年度内に出た計画をその中で消化しなくてはいけない。また、用地交渉にあたっては、より慎重に交渉した上で着工してい

るため、予定以上の時間を要する場合がある。今後は、工期内の完成に向けて努力する。

Q 今後の税徴収対策は。

A 市民税の滞納額二億九百万円。厳しい文書や差し押さえ等、毅然とした態度で徴収に臨む。

Q 海砂採取による沿岸漁業振興基金取り崩し七百万円の用途は。

A 市町村権限委譲等交付金の五千五百六十六万四千円の中の海砂採取に係る分は旧三町分の合計二千七百三十一万九千円。吉岐地域栽培漁業センターの基本計画等の財源不足時に充当する。

Q なぜ敬老祝い金支給年齢を上げたのか。

A 高齢化が進み、この事業の運営を維持するため。段階的な配慮も検討

協議したが、県内他市の状況もあり八十歳からとした。約六百五十万円の予算減になる。

Q 農業機械銀行のあり方

A 当面二年程度の施行期間を置き、その後完全に一本化する予定。機械の有効活用、作業効率の向上を図り、独立採算を目指す。

十八年度 一般会計予算

Q 水産業のマスタープランは。

A 吉岐市総合計画には旧町からの持ち寄り項目はあるが、今後の水産振興について各漁協と協議するための実質的基本計画がない。向こう十年間の水産振興計画を策定する。

かつ住民の負担が著しく過重となること。

Q ②地方自治体間において物の流通に重大な障害を与え

ること。

Q ③前二項に掲げるものを除くほか、国の

経済施策に照らして適当でないこと。

法定外税の新設という

のは財源確保することでは市の財政運営にとつて選択肢の一つと考えられるが、納税者の理解、税の用途を含めて今後調査検討する。

Q 漁船近代化施設補助金の内容は。

A 補助項目としては、GPS・レーダー・魚群探知機・プロッターが上限三十五万円。電動リール・竿が上限二十五万円。そのほか緊急通報システム等については随時検討する。

Q 体育施設等の使用料は統一されているのか。

A 学校関係の開放後の体育館、芦辺体育館、B&G体育館については統一料金一回五百円。ただし、その他の体育館では、予算通過後に実施する計画。

くわしゅう

①国税または他の地方税と課税標準を同じくし、



長崎県リサイクルセンター吉岐営業所（郷ノ浦町大浦触）



せんせい だいすき！（沼津保育所）

Q 漁業用燃油対策資金貸付保障制度の内容は。

A 漁業用燃油対策については、平成十七年九月三十日付で省エネルギー推進緊急対策資金利子補助制度が創設され、国及び県において三・四割の利子補助を行い、対象者については無利子。ただし、信用保証協会の保証分その信用保証〇・八五割については、市の予算措置で行う。市の単独補助は無理。

Q 僻地保育所運営補助金の減額は。

A 平成十七年度から、僻地保育所運営費に係る補助制度が次世代育成支援対策交付金へ補助の内容が変り、交付算定方法がポイント制になるため、減額。

Q リサイクル物引き渡し還元金の増額はなぜか。

A 平成十六年度後半から、国内で回収された古紙類が大量に外国へ輸出される傾向にあり、国内の製紙メーカーの買い取り価格が高騰している。そのため、大幅の増を見込んでいる。

議案質疑

もうちょっと

Q 幼稚園免許取得者は日給六千円、それ以外は、通常の事務と同額で日給五千七百円。社会保険加入。

Q 地域包括支援センターとは。

A 介護保険制度の大幅改正により、地域包括支援センターの新たな設置と保健士、社会福祉士、主任介護支援専門員の配置が義務づけられた。主な業務内容は、保健士が介護予防ケアマネージャー業務、社会福祉士が総合相談、支援業務及び権利養護業務と、それから、主任介護支援専門員が包括的、継続的マネージャー業務の業務をそれぞれ担当、そして、取り組みの主な事業については、新要介護認定1、2に該当する方の新予防給付と、介護保険の対象外の方の地域支援事業を中心に取

り組んでいくことになる。市では、現在介護保険事業計画作成委員会にあわせて包括支援センターの運営準備委員会を設置し、四月からの開設を目指している。特に介護予防については対象者が多く、予防ケアプラン作成業務に膨大な労力が必要であり、今後は官民相互取り組みを行っていく。

Q 施設の利用状況・駐車場・立地条件からして他の地区にも適地があったのでは。また、規模は適正か。

A 他の立地も検討したが利用者の意見等を取り入れ、公式試合もできる総合的なものということ、今回の複合的なスポーツセンター計画と老健壱岐、光風、光の苑、訪問看護ステーション、特養ホーム）とも協議をしていく。

より老朽化した体育施設があるにもかかわらず、なぜ本施設を建て替えることになったのか。

A 旧石田町時代に体育館の建替え計画があった。

Q 預かり保育の臨時職員の出遇は。

A 平成十七年度は職員が三名。今年度より市内全幼稚園で預かり保育を実施するため、十二名増の十八名態勢になる。臨時職員で雇用期間は一年間。勤務態勢は、午前八時から午後四時四十五分までと、午前九時三十分から午後六時十五分までの二つの勤務態勢。

Q 今後の外出支援サービスは。

A 利用者が大変多く、今後財政的にも大変な負担となってくる。十八年度については、利用の回数・内容等を検討していく。

Q 預かり保育の臨時職員の出遇は。

A 平成十七年度は職員が三名。今年度より市内全幼稚園で預かり保育を実施するため、十二名増の十八名態勢になる。臨時職員で雇用期間は一年間。勤務態勢は、午前八時から午後四時四十五分までと、午前九時三十分から午後六時十五分までの二つの勤務態勢。

石田スポーツセンター

他にも本施設



岐阜市包括支援センター（岐阜市芦辺支所内）

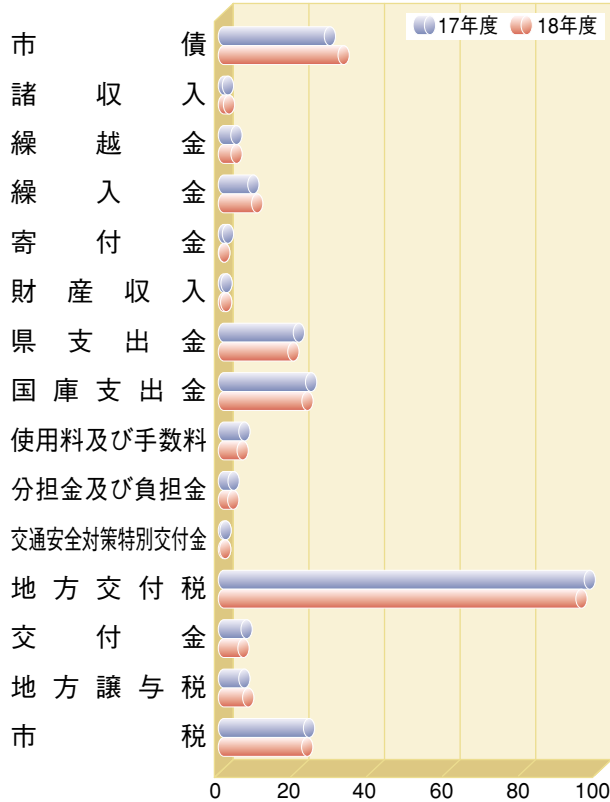
平成18年度予算決定!

前年比0.5%微増 緊縮型予算

補助金一律10%カット

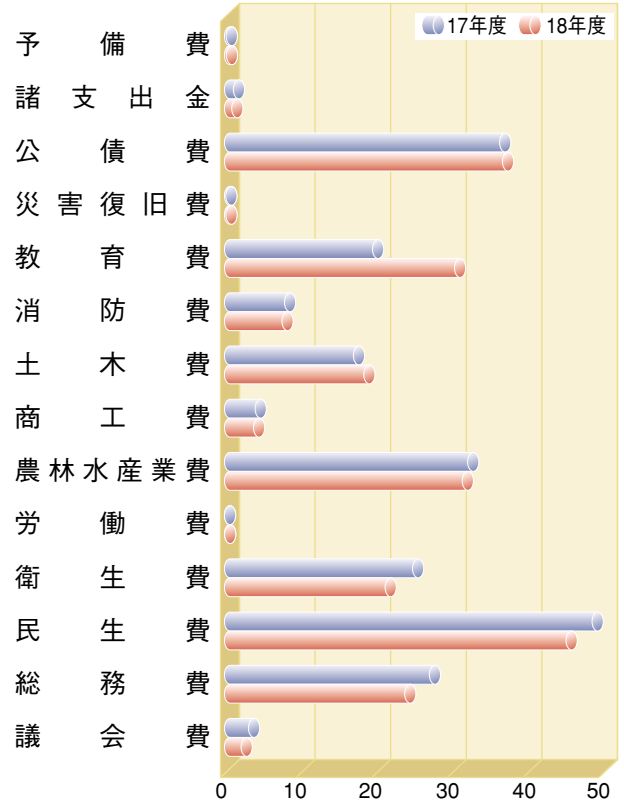
● 歳入

(単位：億円)



● 歳出

(単位：億円)



● 歳入

(単位：万円、%)

款	18年度予算額	17年度予算額	増減額	増減率
市税	208,999	210,812	△1,814	△0.9
地方譲与税	56,020	45,020	11,000	24.4
交付金	43,400	48,960	△5,560	△11.4
地方交付税	917,228	938,985	△21,757	△2.3
交通安全対策特別交付金	580	580	0	0.0
分担金及び負担金	17,383	17,848	△465	△2.6
使用料及び手数料	43,899	45,729	△1,830	△4.0
国庫支出金	209,422	219,020	△9,598	△4.4
県支出金	175,101	184,437	△9,335	△5.1
財産収入	4,802	4,986	△184	△3.7
寄付金	5	2,516	△2,510	△99.8
繰入金	81,970	66,560	15,410	23.2
繰越金	30,000	30,000	0	0.0
諸収入	17,230	13,868	3,362	24.2
市債	303,160	269,380	33,780	12.5
歳入合計	2,109,200	2,098,700	10,500	0.5
自主財源計	404,288	392,318	11,970	3.1

● 歳出

(単位：万円、%)

款	18年度予算額	17年度予算額	増減額	増減率
議会費	18,809	27,339	△8,530	△31.2
総務費	226,542	257,991	△31,448	△12.2
民生費	431,954	463,756	△31,802	△6.9
衛生費	202,796	235,874	△33,078	△14.0
労働費	16	10	6	63.0
農林水産業費	300,859	305,065	△4,206	△1.4
商工費	33,610	35,067	△1,457	△4.2
土木費	175,006	161,117	13,889	8.6
消防費	71,410	72,553	△1,144	△1.6
教育費	291,232	184,515	106,716	57.8
災害復旧費	509	534	△26	△4.8
公債費	350,133	348,945	1,189	0.3
諸支出金	5,425	4,936	489	9.9
予備費	900	1,000	△100	△10.0
歳出合計	2,109,200	2,098,700	10,500	0.5

平成18年度予算の主要事業

● 一般会計

(単位：万円)

(単位：万円)

総務費	新市町人材育成支援事業	1,000
	プライダル推進事業	603
	地方バス路線維持費補助金	6,000
	定住奨励補助金	823
	吉岐ブランド確立協議会補助金	500
	離島交流事業補助金	100
	電算システム開発費	1,469
	地積調査事業	8,470
	長崎県議会議員選挙	600
民生費	社協事務局設置費補助金	2,473
	自立支援医療費	1,143
	居宅介護給付費	1,898
	施設訓練等給付費	29,768
	高齢者・障害者補装具給付費	660
	身体障害者・障害者補装具給付費	1,100
	障害児通園デイサービス事業	13,260
	精神障害者地域生活支援センター管理運営費	2,297
	精神障害者福祉ホーム(B型)管理運営費	2,419
	デイサービスセンター整備	4,250
	老人入湯助成金	1,260
	はり・きゅう・あんま施術助成金	400
	生きがい活動支援通所事業委託	3,084
	「食」の自立支援事業委託	1,950
	シルバー人材センター運営事業委託	480
	老人クラブ補助金	1,009
	養護老人ホーム管理運営費	21,326
	児童手当・児童扶養手当給付事業	30,600
	保育施設改修工事費	10,400
	生活保護扶助費	104,947
衛生費	老人保険事業健康診査委託	6,447
	母子保健検診委託	558
	救急医療運営費補助金	1,989
	リサイクル報奨金	1,376
	吉岐広域リサイクルセンター運営委託	1,800
	ダイオキシン類測定業務委託	1,140
	古紙類等資源化・リサイクル処理委託	5,571
	焼却施設等補修整備費検討業務委託	450
合併処理浄化槽設置整備事業	8,083	
農林水産業費	中山間地域等直接支払制度事業	10,056
	生産振興総合対策事業	1,365
	ながさき食と農支援事業	6,822
	産地づくり推進対策事業	1,639
	園芸施設整備・灌水施設設置事業補助金	831
	地産地消型農産物流通費補助金	747
	地域肉用牛増頭対策事業補助金	562
	和牛導入育成費補助金	3,907
	地域肉用牛振興対策事業補助金	1,854

農林水産業費	畜産振興対策事業費補助金	3,925
	家畜導入事業費資金供給事業費補助金	2,760
	獣医学修学資金貸付金事業	26
	肉用牛振興ビジョン21対策事業補助金	1,278
	土地改良施設維持管理適正化事業	3,360
	基盤整備促進事業（農道整備）	5,256
	農村総合整備事業	6,900
	ふるさと農道緊急整備事業	9,505
	県営圃場整備事業	11,182
	里地棚田保全整備事業	1,440
	林業振興事業	1,212
	森林病虫害防除事業	1,257
	林道整備事業	2,168
	緊急磯焼け対策モデル事業	1,000
商工費	漁業監視活動事業補助金	1,635
	離島漁業再生支援交付金	158,840
	漁船近代化施設整備事業補助金	1,500
	漁業用燃油対策資金貸付保証制度補助金	140
	水産基盤整備事業	91,735
	芦辺漁業集落環境整備事業	5,717
	商工会等運営・活動費補助金	3,069
	商工振興預託金事業	6,000
	街なみ環境整備事業	800
	スポーツ合宿のまちづくり事業	784
土木費	地域活性化イベント開催補助金	1,200
	観光協会運営・活動費補助金	2,150
	道路台帳整備業務委託	3,100
	道路改良事業	516,610
	河川整備事業	4,600
	急傾斜地崩壊対策事業	3,003
	港湾整備事業	29,358
	都市計画事業・街路事業	3,230
都市計画事業・まちづくり推進総合支援事業	14,777	
消防費	公営住宅改修工事等	1,515
	公営住宅建設事業	12,694
	防災訓練	2,250
	消防施設整備費	2,858
教育費	学校図書購入費	10,000
	幼稚園預かり保育事業	3,575
	文化財保護費	849
	文化財調査事業	986
	原の辻遺跡公有化事業	705
	原の辻遺跡復元整備事業	22,521
	一支国博物館（仮称）整備事業	43,435
	石田スポーツセンター建設事業	65,558
市体育協会補助金	1,192	

● 特別会計

(単位：万円)

簡易水道事業	簡易水道施設整備事業	45,474
下水道事業	下水道建設事業	25,099
	漁業集落排水施設整備事業	47,549
農業機械銀行	機械器具費購入事業	692
病院事業会計	機械備品購入事業	5,895
水道事業会計	配水設備改良事業	5,556



平成18年度予算ピックアップ

どんな事業があるの？

武道場備えた総合体育館建設

6億5,558万円

武道場や卓球場等持つ総合体育館石田スポーツセンターを建設予定。

- 1階 武道場、多目的室、トレーニングルーム、シャワー室、管理室
- 2階 公式バスケットボール(バレーボール)2面
- 3階 観覧席(242席)



石田スポーツセンター完成予想図

島の表玄関がリニューアル

2億9,358万円

印通寺港ターミナルビル 平成19年4月に唐津間との大型フェリー就航予定のためボーディングブリッジの新設とバリアフリー化。なお、芦辺港ターミナルビルは4月供用開始し、ボーディングブリッジは7月中旬完成予定。



印通寺港フェリーターミナルビル

やっとこれで0歳児保育 旧4町にて実施

1,040万円

石田保育所にて0歳児保育実施に向けた保育所改修事業。



0歳児保育部屋(勝本保育所)

待ちに待った預かり保育 全園にて実施

3,575万円

平成18年4月から市内全9園にて実施。



みんなでおいしいおやつ(勝本幼稚園)

地産地消の推進

747万円

吉岐焼酎の原料の麦、納豆やみその原料の大豆生産に対し産地形成と生産を確保するために支援。



勝本地区納豆生産組合

三島の75歳以上乗船料無料化

248万円

平成18年4月から三島の75歳以上の高齢者は「フェリー三島」の乗船料を無料化。



フェリー三島

貴重な街なみの保存・活用を

800万円

歴史的建造物が数多く残っている勝本浦について、街なみ環境整備事業基本計画の策定を行い、平成19年度から整備に着手。



勝本浦の街なみ

急げ、磯焼け対策！

1,000万円

貧海草地帯・磯焼け地帯の拡大により漁場の環境悪化の対策モデル事業の調査と工事を実施。



ほら見て、ウニがいたよ！（勝本町天ヶ原海岸）

原の辻遺跡建物復元に着手

2億2,521万円

たかゆかしゆさいでん ひら や わきでん おおがたてあなじゆうきよ
高床主祭殿・平屋脇殿・大型竪穴住居の3棟の建物復元に着手。

原の辻遺跡復元整備イメージ▶





一般質問

13人が登壇

一問一答方式を導入

一括質問・一括答弁方式から一問一答方式へ

従来の「一括質問・一括答弁方式」では、議員が多数の項目を質問したい場合、最初の質問で全項目の質問を行うこととなります。また、それに対する市長はじめ関係部長の答弁も、一度に複数の項目について行うこととなりますので、的確な答弁でなかったり、ときには答弁がなかったりという問題が起きることもあります。また、傍聴者（市民）にとっても、質問に対する答弁が分かりづらいということがありました。

このような中、壱岐市議会においては3月定例会から、試行的に「一問一答方式」を導入しました。この方法では、一項目の質問毎にそれぞれ答弁がなされるため、論点が明確となり、質問と答弁の“キャッチボール”がしやすくなります。傍聴者の方からも「以前より分かりやすくなった」という声が聞かれました。

中田 恭一 議員



Q 障害者対策の今後

①障害者自立支援法の施行は、当事者・家族にとっては個人負担の増など不安が多い。市としてのサービス体制はどうなるのか、関係者への十分な説明を。また、現在の職員二名での対応には無理がある。障害課の新設も含めた検討を。
②十九年度開設予定の養護学校分教室については、両手を挙げて喜べない状況。重度障害児の受け入れができるよう、看護師や介護員の配置を。給食、放課後の預かりや療育、訓練についても市での対

応を。関係者への定期的な情報提供と共通理解が必要。

A 長田市長

①国より細部について示されていないので情報も得られない。十八年度に市の障害者福祉計画を策定する。官・民・社協も含め一体となって取り組む。
関係者への説明会を二月十七日に開催。今後、担当者が要望に応じ、出向く。

A 須藤教育長

②通学困難な児童は訪問教育。医療的ケアのための看護師配置を県へ要望しているが難しい。市で

看護師配置か、市民・かたばる病院の看護師配置となる。給食は市民病院へ対応を相談する。福祉関係者と話し合い、児童生徒が安全に通えるように考える。

Q ゴルフ場用地の利用

ゴルフ場拡張用地は畜産農家などへの一時貸し出しができないか。

A 長田市長

カントリークラブに貸しているもので、市に許可権限がない。貸付契約の中に土地の転貸禁止条項もある。管理上の除草は伝える。



◀ゴルフ場拡張用地(勝本町布気触)



Q 子育て支援と教育予算

① 預かり保育等では一定の評価をするが、乳幼児医療助成金の現物給付方式への早期移行、幼稚園・保育所の入所手続きの簡素化、保育費の軽減等、少子化対策強化を。

② 学校施設の老朽化で、危険箇所が多く見受けられる。現場に足を運び、予算化すべき。「事故が

音嶋 正吾 議員



起きないとしない」では許されない。

A 長田市長

① 市内の全幼稚園で預かり保育を行うことは画期的な取組である。幼稚園が幼児教育のセンター的な役割を果たし、子育て悩み相談会・懇談会等に取組む必要がある。

幼稚園の入園手続きは簡素化されている。保育所は保育料の関係上、世帯の就労・家庭状況が必要。事業所・民生委員の証明が必要なこともある。

A 須藤教育長

② 必要度の高い所から財政当局と協議し補修する。耐震改修と老朽改修で大きな問題が起こってくる。

▲コンクリート片の崩落が見られる 鯨伏中学校体育館

Q 市民病院の経営の実態

平成十七年度純損失金、八億三千七百四十八万三千三百五円。このことを市長はどう考え、どう責任を取るのか。この数値は想定内か想定外か。本年度事業計画案に四億八千六百二十九万円の欠損の計画案を提出しているが、どういうことか。また、経常収益に対し、費用である人件費が七〇割を占めている。一般企業なら三〇〜五〇割である。早期に管理者を選任し、経営の建て直しを。

A 長田市長

② 必要度の高い所から財政当局と協議し補修する。耐震改修と老朽改修で大きな問題が起こってくる。

損失額は想定外であり、経営の責任者は当然市長。管理者選任の必要性は痛切に感じており、人選中。更に病院事業運営審議会の立ち上げも検討する。

今西 菊乃 議員



Q 公的公民館の活用

各地区にある十三の公的公民館は、体制もバラバラで、事業も無いに等しく、機能を殆ど果たしていない。この公民館を地域の拠点として活用し、特長を活かした活動ができる体制にすれば、教育委員会の各事務所は必要ない。生涯学習課は一つにまとめた方が住民サービスは行き届くのでは。

A 須藤教育長

支所機能を有した地区公民館として機能を継続しているが、住民サービス

機能が低下している。人づくり・町づくりに地区公民館・公的公民館としての役割を果たす活動が大きな課題。活動ができるような方向で検討する。

Q 自治会の統合

二百四十二の自治会には加入世帯十戸以下が十四地区、百戸以上が十地区ある。統合して調整する必要があるのでは。

A 須藤教育長

合併後の調整事項であったが、まだ統一に至っていない。

行政改革推進委員会の答申を尊重し、先進事例等を参考に市民の意見を聞きながら、適正規模に向けた

Q コミュニティスポーツの登用

公民館対抗スポーツ大会の種目をコミュニティスポーツ※に変える指導をすべきでは。

A 長田市長

勝敗を意識する競技ばかりではなく、親睦を第一とするコミュニティスポーツの種目選定に大きな問題があるが、今後取り組んで行く。

※気軽に楽しむことができ、住民同士がふれあい、心のよりどころや連帯感を生み出すような地域で行われるスポーツ活動のこと



柳田地区民センター玄関にて



Q 中核病院としての自覚を

①市民病院の実績が予定に比べ少ないのはなぜか。
②一部の看護師や職員の待遇が悪い。増収のため体質の改善と受付の延長や土曜診察の実施を。

③医師常勤十五名体制は大変喜ばしいが、科によつては担当医が短期間で交代され、不安な利用者も多い。今後の対応は。

④二次病院だが救急車や急患を断つた例もある。救急医療は医の原点であり、香岐の中核病院として医師会や島内の病院との連携を密に救急医療機関の機能分担を明確にし、市民、救急隊にもわかりやすく、利用しやすい救急医療の体制の確立が重要と考えるがどうか。

②接遇等島内外の研修へ派遣実施しているが効果不十分。今後努力する。受付延長は手術や病棟診察等で現状では困難。土曜診察は人的配置、医局大学との協議もあり、今後の検討課題。
③今後とも医局へは粘り強く働きかけていく。
④救急医療は重要な課題。救急車、急患は必ず受入れることが原則。専門的な治療が必要な時は担当科医の呼出し態勢を取っている。患者受入れ拒否は聞いていない。
⑤参考にする。

市民病院救急車入口

A 長田市長

①病院経営の見込み違い非常に遺憾。反省している。十八年度は医薬分業の院外処方箋により二千二百万円の増収見込み。

A 牟田市民病院事務長

④電話の不手際であったのではなからうか。看護師を招集し、注意した。



Q 補助金の方向性と交付基準

市長の諮問機関として設置された補助金等検討委員会は、補助金三百五件、負担金百七十六件にも及び個別審査を経た上で、過去の補助金行政を全般的に見直し、大幅に縮減することが急務であると指摘し、その見直し期間を二十年度末までとしているが、新年度予算にどう反映されたのか。また、緊縮財政での補助金改革は当然のことではあるが、市民や各種団体の理解と協力は必要不可欠となる。交付団体によつては、多額の繰越金

を有する事例も見受けられ、適正な予算執行を図るためにも交付基準を設け、改善すべきである。また、見直し期間における縮減計画も早急に作成・公表し、市民と協働すべきと考えるが。

市民に正確に知らせる努力が足りなかったと反省している。香岐市の発展のためには市民と行政、議員の協働が必要。補助金縮減計画を作成し、公表することは非常に良いが、検討する。

A 長田市長

新年度予算は補助金等検討委員会の提言をもとにして平成十七年度を基準に補助金総額は新規を除き前年比一三・五割減、負担金は前年比五・六割減。今後は各種団体の自主独立を側面から支援するという補助金の原点に立ち、例外なく活動内容等十分検証し、決算見込みや積立金状況等の提出を求め、予算範囲内で適正な額を交付し、政策等を基本にめりはりをつけた補助金制度にしたい。また、今の厳しい情勢を

補助金等検討委員会の提言書が提出される(11月7日)



豊坂 敏文 議員



Q 農政の推進方策

①平成十九年度から新たな品目横断的施策が開始されるが、具体的な試案を農家に示すべき。

②畜産振興の大きな目標として、「八千頭」飼育を樹立してあるが、優良系統牛の導入について、合併当初から連続三ヶ年補助金の減額はなぜか。

A 長田市長

経営規模の知事特認による緩和策について最大の配慮を要望している。具体的な営農方策として、まず二十一世紀ほ場整備地区は将来法人化を目指す特別農業団体へ誘導し、その他のほ場整備地区は、集落または農業受託組織による特定農業団体、あるいは認定農業者へ農地の集積を図る。また、一般地域においては認定農

業者へ農地の集積を行う等の対策を考えている。

肉用牛は志岐農業の基幹として重要な部門である。財政状況は厳しいが、今後も支援を行う。

Q 公共施設の整備

各教育施設内及び公共施設の水洗化はいかに。

城山城跡の展望台と遊歩道は通行止して一年経過中、その後の対応は。

若宮島・辰ノ島の松食い虫で松が「紅葉」している。早急な対応を。

市内各河川に土砂等が堆積しているので、梅雨前に早急な対応を。

A 長田市長

公共施設の改修・整備については、精査し、緊急性を勘案しながら早急に志岐島のイメージアップのために対応する。

中村出征雄 議員



Q 市民病院の経営

①市民病院は平成十七年度末には十五億円以上の累積赤字見込。一方、対馬の市立三病院決算が合計では黒字となっている。

また、志岐と同規模のいずはら病院は、ベット回転率が志岐の六七割に對し、九一割。外来患者が志岐の三百九十六人に対し、四百七十一人。人件費総額の営業収入に占める割合が志岐の七割に對し、約五割となっていることから、民間人を含めた「仮称病院経営対策委員会」を早急に設置すべき。

②長崎県離島医療圏組合に加入すべきと思うが。

A 長田市長

①有識者からなる「病院事業運営審議会」等を立ち上げたい。

②課題が山積しているが、前向きに検討したい。

Q 旧公立病院の跡地利用

病院跡地については市が買い取るべき。また、跡地利用についても早く方針を出すべきでは。

A 長田市長

跡地は平成二十年以後、市民病院敷地と等価交換して有効利用したい。

Q 石田スポーツセンター建設

①三階観覧席にトイレが必要。

②駐車場整備の計画は。

A 須藤教育長

①構造上の問題もあり、身体障害者用のトイレを設置予定。

②普通車で九十二台の駐車場を整備し、周囲を含め、計四百台駐車可能。



解体される予定の石田町体育館

②普通車で九十二台の駐車場を整備し、周囲を含め、計四百台駐車可能。

盛況だった子牛セリ（4月9日 家畜市場）





近藤 団一 議員



Q 市民病院関連

今議会で四人もこの件で質問するということは、かなり市民病院に問題があるのではないかと、院長の意識が変わらな

ければ、職員の意識が変わるわけがない。院長の更送も視野に入れた厳しい市長の態度が院長の意識を変えるのでは。病院管理者を選任するだけでは今の市民病院の改革はできない。要は市長の指導力にかかっていると思われるが。

A 長田市長

院長とは常に打ち合わせをしている。投書についてはよく精査し、事実であればよく指導する。病院事業については、赤字体質からの脱却をめざし、早急に管理者の選任を含め、有識者からなる病院事業運営審議会の立ち上げを検討中。

Q 入札

新年度見直しと聞いたが、どうなのか。工事に当たって品質の確保はもちろんであるが、地域経済の観点から、なるべく地元業者が入札に参加できる条件整備、指導・育成も急務ではないか。ただ実績を唱えるだけでは問題は解決しないと思われるが。

A 長田市長

十七年度は旧四町での実績を重視した。十八年度は専門業者の選定を行い、入札制度を見直し、再検討して地元業者に優先的に発注する。

市山 和幸 議員



Q 学校の安全対策の推進

登下校時の安全対策の強化を図るため、吉岐全校の防犯指導を行う「スクールガードリーダー」の導入を。また、国の交付金によるスクールバスの導入を。

A 須藤教育長

吉岐の場合、地域に開かれた学校経営が基本方針であり、スクールガードリーダーの導入は考えていない。

A 長田市長

スクールバスについては学校の統合もあり、今後の検討課題。

Q 悪質商法から市民を守る対策の充実

電話や訪問販売などの悪徳商法対策の強化を。特に認知症や知的障害者の高齢者に対しては、成年後見制度[※]の活用の実を。

A 長田市長

十七年度は七十件の相談を受けた。成年後見制度を含め、今後も早期に法的対処がとれるよう制度の充実に努めていく。

Q ブライダル事業の拡充

吉岐の活性化に貢献しているブライダル事業予算一〇割カットは納得できない。商工会や農協・漁協の青年部と連携を取

り、補正予算で拡充すべき。

A 長田市長

これまでも二十一組のカップルが結婚し、一定の成果は上がっている。当初予算のままで行きたい。今後、農協・漁協とも連携を取り、協力態勢については研究する。

※自己決定を行うのに一定の支援を必要とする人(判断能力の不十分な人)がその人らしく暮らししていくために利用する制度



坂本 拓史 議員



Q 経済活性化
対策

吉岐市の将来像を実現するための中長期的な経済活性化対策を着実に実行していくことは重要であるが、あわせて即効性のある積極的な方策に取り組むべき。特に、全国の経済界等で活躍されて

いる吉岐出身者や吉岐人会との関わりを強化し、企業誘致や観光宣伝に直接寄与して頂ける組織等の立ち上げが必要では。また、福岡に派遣している職員の活動状況やその効果は。

A 長田市長

派遣職員の活動については、福岡の観光パンフレットへの掲載やマスコミへのPR、吉岐観光協会と(財)福岡観光コンベンションビューローとの交流等、吉岐の活性化に係る活動をしている。各地区の吉岐人会や長崎県庁の吉岐人会、そして、福岡市役所の岳の社会などの総会や意見交換会へ出席し、情報提供を受けている。また、企業との意見交換をしながら企業誘致、あるいは吉岐の物産の流通などについての

Q 公共施設の
環境整備

提案の場を是非つくりたい。吉岐の活性化のためにはいろいろな角度からの方策を考えている。

芦辺のふれあい広場や

勝本の総合公園内のトイレ改修あるいは僻地

集会所の空調機器の設置

や簡易水洗化など一向に

進展が見られない。特に

ふれあい広場は新春マラ

ソン大会や各種スポーツ

大会で島外からの参加者

も多いので、早急かつ計

画的な整備が必要。

A 長田市長

年次的に計画している。芦辺ふれあい広場および大谷公園の残り二ヶ所の改修が急務と考えるが、財政上、本年度は行わない。使用頻度の少ない所は廃止も含め検討する。

久間 初子 議員



Q 観光道路沿いの
整備

観光道路の整備はされているものの、道路沿いには雑木が繁り、箇所によっては景観が見渡せない状態。伐採の必要がある。観光シーズン前には担当課は吉岐一円の見回りが必要。個人の所有で、中には高齢者の家もあるので、ぜひ市で対処を。

A 長田市長

雑木伐採については平成十六年度長崎県緊急地域雇用創出特別事業において対応した。今後は市の土木管理費修繕料にお

Q 新本庁舎は
必要か？

合併協議会では、本庁舎建設の折りには亀石地区となっているが、現在、庁舎建設懇話会で審議されて十月に最終答申がされるとのことだが、公立病院跡地の活用を。市民も不景気で痛みを味わっているの

A 長田市長

で、市職員も狭隘なのは分かるが、財政厳しい折、我慢してほしい。現在、分散しているがゆえに非常に無駄が多い。行政機能を効率的にするためには、一

定規模の本庁舎に機能集約をし、本庁と支所の役割分担を明確にする必要がある。行政事務のスリム化と効率化を実現するには、職員間の意思統一と能率的な執務環境を備えた市庁舎が必要だが、分庁方式との比較も含め懇話会の答申を待つ。



勝本総合公園(勝本ダム上)内にあるトイレ



旧公立病院



Q 行政改革

①十八年度予算および行政改革審議会の答申について行政改革の視点からみて、市長が最も力点を

置いた点は何か。また、市職員は四十歳昇級停止し、後は役職加算をしては。

がある。行政区域が違うとはいえ事故の時は、わずかに三〇キロしか離れていない吉岐市が、風向きによつては最も被害を受ける。保護条例も制定されたことから、九州電力に対して説明を求めるときである。

A 長田市長

①三位一体改革の厳しい中、緊縮予算で最大の効果を出すことが行政改革。

A 長田市長

漁協団体とは協議がなされていると聞いている。市としても文書で要請し、説明の機会を設けたい。

Q 不法投棄の処理対策

道路脇に捨てられた空き缶・空き瓶等は、ボランティア活動で回収されているが、減少していない状況。また、自動販売機付近での散乱も見られる。どのような対策をし、その効果と今後の施策は。

A 長田市長

利用状況及び頻度を精査し、解体撤去も検討しながら整備する。

Q 芦辺港背後地の整備

「つばさ」と「ダイエー」に挟まれた市有地は多くの人々が交流する場所として、また、東の玄関口と観光の活性化の拠



力を頂き、啓蒙活動も積極的に。今後、設置業者とは協議する。

Q 公共施設のトイレ改善

福祉館は施設も含めトイレが老朽化し、悪臭が発生して衛生面が悪い状態である。また、赤瀬鼻のトイレは水道・電気もない。施設の状況に応じて長期改善計画を早急に作成すべき。

A 長田市長

地元を中心とした用地利用計画検討委員会を設置し、市民の意見を基本とした計画を策定する。

点として期待される。一度は整備されたがその効果が見られない。今後の整備計画は。



印通寺港から玄海原子力発電所方向を望む

Q 九電のプルサーマル※

佐賀県に建設される核燃料再処理施設は、我が国で初めての施設でもあり、その安全性には疑問

※プルトリウムとサーマルリアクターからできた言葉。プルトリウムとウランを混ぜた酸化燃料を現在使われている原子力発電所(軽水炉)サーマルリアクター)で燃やすこと。

A 長田市長

平成十七年度より、国・県道および幹線市道は年六回の回収委託を実施しているが限界がある。ボランティア活動等の協



◀整備・活用が望まれる市有地

請願 陳情 意見書 コーナー

公共サービスの安易な民間解放は行わず充実を求める意見書提出に関する陳情

不採択

○提出者 日本国家公務員労働組合連合会
執行委員長 堀口 士郎

不採択の理由

今日の社会情勢や行政改革の推進がなされている状況を考慮するとき、一定の公共サービスの民間解放や、公務員の純減については避けて通れない今日的課題である。

全天候型多目的施設の早期建設を求める請願

不採択

○提出者 壱岐市公民館連絡協議会
会長 江田 和夫 外8名
○紹介議員 壱岐市議会議員 深見 義輝

不採択の理由

施設の必要性は認めるものの、現状における市の財政は極めて厳しい状況にある。従って既存の施設を有効に活用することも必要である。
また、仮に整備するとしても、施設の規模・場所、整備後の利用状況・維持管理費及び他のスポーツ施設との兼ね合いなど総合的な検討を要する。

継続審査となった請願2件についてはさらに慎重な審査を必要とするため、議会閉会中に産業建設常任委員会にて審査され、次回定例会本会議にて報告されます。

継続審査

漁業集落環境整備事業による造成地の早急な整備に関する請願

継続審査

一級市道能尻線及び一級市道江角諸津線改良工事の早期採択施行に関する請願

○提出者 壱岐市建設業協会
会長 馬渡 路伊
要望書の写しを全議員に配付しました。

文書配付

壱岐中央に、新市庁舎の早期建設促進に関する要望

意見書

「道路特定財源制度の堅持に関する意見書」を衆議院議長ほか関係機関へ送付しました。

採択

「道路特定財源制度の堅持に関する意見書」採択の要請

○提出者 壱岐市長 長田 徹

書き方参考例

平成〇年〇月〇日

〇〇〇に関する請願（陳情）書

壱岐市議会議長
〇〇〇〇様

請願（陳情）者 住所 〇〇〇〇〇〇
氏名 〇〇〇〇印

（請願の場合必要）紹介議員 〇〇〇〇印
（署名または記名押印）

請願（陳情）の趣旨・・・・・・・・
（できるだけ簡潔に）・・・・・・・・
・・・・・・・・・・・・・・・・

せいがん ちんじょう 請願・陳情ってなに？

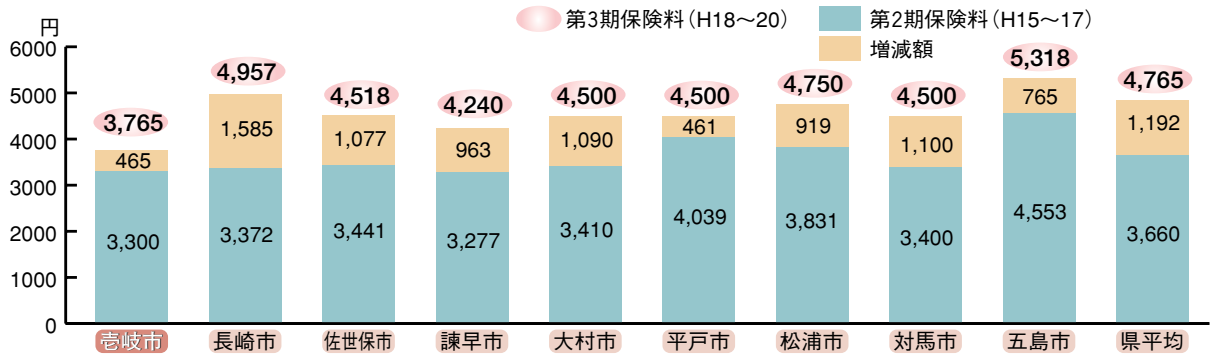
- 請願は、市民の要望や意見を国・県および市に伝える方法の一つで、地方議会に対する請願については、地方自治法第124条の規定により、請願しようとする人は**1名以上の議員の紹介により請願書を提出すること**となっています。
- 陳情は、請願と非常に似通った性質のものでありますが法的根拠がないため、紹介議員は必要ありません。
- 一定の要件を満たした請願（陳情）書が提出されると、議長はこれを受理して、直近の本会議において所管の委員会に付託し、委員会において慎重に審査します。
- 委員会で結論が出されたものは本会議で委員長により報告され、その報告を踏まえ、最終的な結論（採択か不採択など）が出されることとなります。
- これらの審査結果は請願（陳情）書の提出者にも通知されます。



さらどえんこつで?

介護保険料アップ

○県下の介護保険料基準額 (市民税が非課税の人の場合)



※壱岐市内における在宅介護や施設介護サービスのH18年~20年の利用見込みから算出

敬老祝い金支給年齢 77歳から80歳へ引き上げ

○近隣市の敬老祝い金支給状況 (平成18年3月14日時点)

支給区分	支給年齢	壱岐市	平戸市	五島市	対馬市
一律支給	77歳	5,000円	—	—	—
	80歳	—	5,000円	—	—
	85歳	—	—	—	—
	95歳	—	—	—	—
節目支給	77歳	3,000円	—	10,000円	7,000円
	88歳	5,000円	—	30,000円	8,000円
	99歳	5,000円	—	100,000円	100,000円
	100歳	100,000円	100,000円	—	—
備考		将来的には節目支給のみへ移行	一律支給と節目支給	節目支給のみ	節目支給のみ

市民病院のあり方

平成18年4月から診療報酬や薬価など、合計で平均マイナス3.16%の改正が行われ、平成18年度事業計画では、平成17年度当初事業計画より一日平均患者数を、入院でマイナス30人の145人、外来でマイナス40人の410人、医業収益予算では平成17年度当初予算額よりマイナス5億7,687万円の18億667万円となっている。

予定損益計算書では、純損失額が8億7,687万円となっており、前年度繰越欠損額を入れると、未処理欠損金は10億6,128万円が計上されている。

壱岐市民病院は最新の施設と機器を備え、充実した医師と看護師を揃えているので、高い目標を掲げて、医師や看護師一体となって医業収益を上げるよう努力すべきである。

また、現在の院長は管理者であり、医師でもあるので、医師として患者の診療に専念できるよう一日でも早く病院管理者を選任されることを望む。(厚生委員会報告より要約)

イルカが壱岐にやってきた!

追跡 あん質問な どえんなった?



早く海に入りたいよう～(3月30日 イルカパーク)



飼育係にエサをもらう3頭のイルカ

質問

平成17年12月定例会

駐車場の改善を

郷ノ浦港の駐車場は長期駐車と放置車両等で常に満車状態にある。早期改善を。



市長／調査する



関係者へ要請する

放置車両1台の所有者が判明し、撤去済。九州郵船(株)に職員駐車場の開放を依頼。近隣事業所に移転の説明をした。良好なる意向は得られない。営業者・職員の車両の駐車場確保を依頼し、了解を得た。



いつも満車状態の郷ノ浦港駐車場

質問

平成17年12月定例会

市民病院行きバスの運行改善を

各町からのシャトルバスの運行を考えては。



市長／壱岐交通(株)に要請する



国・県との協議が必要

バスダイヤ変更はフェリー等の連絡便関係に支障が生じる。勝本方面は系統の変更認可申請が必要。石田方面は新規路線免許が必要(利用者が問題)

壱岐交通(株)において検討中。



利用しやすいシャトルバスに



小倉 馬 鶴 豊 市 今 深
園 元 場 瀬 坂 山 西 見
寛 強 忠 和 敏 和 菊 義
昭 弘 裕 博 文 幸 乃 輝

委員

音 嶋 正 吾

副委員長

町 田 正 一

委員長

一支国博物館(仮称)
建設等に関する
調査特別委員会
を設置しました(3月24日)

募集

あなたの撮った写真が 議会だよりの表紙を飾る！

①メインテーマ

「次世代を担う吉岐のこどもたち」

②応募資格

市内在住、在勤及び在学の方

③撮影場所

吉岐市内

④応募可能な写真

現像した写真（L判以上）か電子データ（400万画素以上でJPEG形式）で縦向きに撮影したものに限り。なお、被写体となった人、建物の管理人等に、応募することの許可を得てから撮影してください。

⑤応募方法

住所・氏名・連絡先・撮影場所及び写真のサブタイトルを明記し、議会事務局宛に郵送または持参してください。

⑥応募締切

平成18年 7月20日(木)まで。

⑦写真の選定

吉岐市議会広報特別委員会で行います。

⑧紙面への掲載事項

- (1) サブタイトル（応募する方の写真に対するコメント。文字数は20字程度）
- (2) 撮影者の氏名



あなたのご応募
お待ちしております！



議会生中継 放送開始！

平成18年第1回定例会から、勝本エフエムにより吉岐市議会本会議のラジオ放送が開始されました。（周波数はFM 76.4MHzです）詳しくは、下記の連絡先へお問い合わせ下さい。

○勝本エフエム

TEL & FAX 0920-42-0309



市民のみなさまへ 議会を傍聴してみませんか？

（次の議会は6月上旬の予定です。）

- また、「いき議会だより」に対するご意見ご感想もお待ちしています！



親子そろって入学式（4月7日 鯨伏小学校）

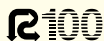
春の若葉が芽を吹き、日増しに成長する姿を見る時、力強い生命の躍動を感じます。荒川静香選手の金メダル、王ジャパンの優勝、清峰高校の準優勝に夢と感動をもらいました。

吉岐市も新年度を迎え、現在の私たちの行動が吉岐市の未来を決定することを考えれば、議会の果たす重大さを再認識させられます。

市民のみなさんが夢や希望を持ち、誇りに思えるような吉岐市建設のために、斬新な発想やご意見を頂きながら、議会活動に邁進して参ります。

（市山）

編集後記



この議会だよりは、古紙配合率100%の再生紙を使用しています。

発行責任者／吉岐市議会議長 編集／議会広報特別委員会
TEL 0920-42-1111
FAX 0920-42-0066

発行日／平成18年5月1日
メールアドレス aikei@city.kinagasaki.jp
いき議会だよりは吉岐市ホームページにも掲載しています。
ホームページアドレス http://www.city.kinagasaki.jp